

「気候危機打開 持続可能なエネルギー政策を考える」

8月27日(日) 13:30～15:00 大分市東部公民館大会議室(大分市日吉町3-1)

講師 佐藤洋さん (日本共産党中央政策委員 気候変動・エネルギー政策担当)

頻発する記録的な豪雨・熱波などは、地球温暖化による気候危機が、命とくらしを直接おびやかすところまで来ていることを示しています。

気候危機の打開のために、国連は温室効果ガスの排出量を、2035年までに60%削減し、2050年までに実質ゼロ(カーボンニュートラル)にするよう各国に組みの強化を求めています。

CO₂を大量に排出する現在のエネルギー・システムを根本的に変えなくてはなりません。そのためには、省エネと再生可能エネルギーの推進が不可欠です。自公政権は、原発や石炭火力に依存するエネルギー政策を続けるGX推進法を維新・国民と強行成立させました。

将来世代に、気候変動の重荷を負わせないためにも、持続可能なエネルギー政策について、みなさんと一緒に考えたいと思います。

★駐車場は、グラウンドをお借りしています。

主催 日本共産党中部地区委員会 連絡先 090-2714-5612(福間)
風力発電を考える会おいた 連絡先 090-8949-8738(花宮)

